

「これは何のノートでしょうか。ここにいる 9 割以上の方は『国語のノート』と答えるのではないのでしょうか。しかし、小学 1 年生だった当時の私にとって、それは国語のノートではありませんでした・・・」

冒頭から、ぐっと惹きつけられるこの文章は、「わたしの主張 岩手県大会」で最優秀賞に輝いた中学 3 年生の小野寺悠来（おのでら ゆき）さんが書いたものです。彼は、生まれつき脳の一部に障害があり、「落ち着きがない」「こだわりが強い」「空気が読めない」など、社会生活に様々な困難を感じる「発達障がい（以下発達障害と記載）」にあてはまっているのが自分だと言っています。そして、当時、先生の指示を聞けなかった理由を「私にとって、これは『国語のノート』ではなく『パリオノート』だったから」だと語っています。

最近「発達障害」をテーマとしたセミナーに参加したことで、「自分が当たり前だと思っている世界とは、また違う世界があるのだ」ということを学ぶ機会に恵まれました。そのため、小野寺さんの作文を目にした時、ギュッと胸が締め付けられたのでした。

とは言ふものの、（えっ？）と、つい思ってしまったというのが、私の正直な気持ちです。なぜなら、先生が、そのノートを国語のノートだと言え、たとえ表紙に「パリオノート」と書いてあったとしても、それは普通「国語のノート」で通用すると思うからです。しかし、「ああ、こういうところなのか。私は小野寺さんが言う、“9 割以上の人”なのか」と思わされ、はたと考えさせられました。

さて、「国語のノートをしましましょう！」という先生の指示が聞けずにいる・・・そんな場面に出くわしたとしたら、あなたはどうかでしょうか？きっと私は、どう接したらいいのか戸惑うことでしょう。戸惑うだけならまだしも、普通だと思っている自分の感覚で、よかれと思って対応してしまうかも知れません。でも、それが発達障害を持つ人にとっては、逆に不要な刺激となることだって有り得るのです。

小野寺さんは、私を含めた 9 割以上の「自分の感覚とは違う世界の人々」と毎日過ごしてきたことになりませう。本人はもちろんのこと、ご家族もどれほど大変だったのかと思うと、さらに胸が締め付けられるようでした。

ところが、小野寺さんは、「『障害を持って生まれてきたことを不幸だと思うか』と問われたら、きっぱり『ノー』と答えます」と言い、「『出来ないことを数えるのではなく、得意なことを数えよう』この考え方が、今の私を支えています」と締めくくっていました。

どこからともなく、心に爽やかな風が吹いてきたかのようでした。私は、小野寺さんの主張を、直接聞きたかったと思いました。きっと、大拍手を贈っていたに違いありません。

世の中は、多数派が生活しやすいようにできているため、私たちはかなり意識しないと気づけないでいることがあります。しかし、小野寺さんの「得意なことを数える」という考え方は、自分のためだけではなく、周りの人の“よさ”にも目を向けることにつながる素敵な考え方だと思いました。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター
025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

[URL:http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/](http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/) 「まなびネットいわて」で検索